

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構



問合せ先:石油・天然ガス開発 R & D 推進グループ
磯部・明吉 TEL:043-276-9204
広報担当:総務企画グループ
今・浅和 TEL:044-520-8592

カナダにてメタンハイドレートの産出試験を実施**ー新たなメタンハイドレート生産手法によるメタンガス連続生産に成功ー**

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC 理事長:掛札 勲)は、カナダ北西部のボーフォート海沿岸陸上地域(北極圏に位置し、冬季には日中でも氷点下30度以下となる極寒地)において、永久凍土の地下約1100mに存在するメタンハイドレート層からメタンガスを産出する試験を3月10日～16日にかけて実施した。

この試験は、経済産業省が実施しているメタンハイドレート開発促進事業^{*1}の一環として行われているもので、JOGMECはこの産出試験に係る事業を経済産業省から受託し、カナダの天然資源省(NRCan)と共同研究の形で、カナダ北西準州のオーロラ・カレッジをオペレータとして実施している。

メタンハイドレート開発促進事業では、現在、地中の固体状のメタンハイドレートからメタンガスを効率的に生産する方法を研究中であり、JOGMECの前身である石油公団がNRCanを含む5カ国の共同研究として同地区で「温水循環法」によるメタンガス生産を2002年に世界で初めて成功させている。今回の産出試験は、より効率的な生産が期待できる「減圧法」を2007年4月の産出試験に引き続き適用し、その効果を検証するのが目的である。

本試験では、約6日間の産出試験を行い、世界で初めて減圧法によりメタンハイドレートからメタンガスを連続かつ安定的に生産することに成功した。今後、得られたデータを解析し、減圧法の評価を行う予定。

メタンハイドレートは、メタンガスと水が結びついた固体状の物質で、我が国太平洋沖の東部南海トラフにおける原始資源量について約40TCFという評価を得ており、他の日本近海においてもメタンハイドレート賦存状況の評価作業を開始している。

*1 JOGMEC、独立行政法人 産業技術総合研究所、財団法人 エンジニアリング振興協会がメタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム(プロジェクトリーダー:田中彰一東京大学名誉教授)を組織し、メタンハイドレート開発促進事業を推進している。